

中学校給食の魅力化に向けた給食内容の充実(案)と必要経費のシミュレーション

(単位:円)

給食内容の充実(案)	1食あたり必要経費		案①	案②	案③	案④	案⑤	案⑥
(1)主食の充実・価格上昇への対応	—		3	5	5	5	5	9
○主食のバリエーションの充実(パンやナンの新規提供)	2~6		-	2 (1回程度/学期)	2	2	2	6 (1回程度/月)
○価格上昇への対応(+約3円:平成26年度→令和元年度)	3		3	3	3	3	3	3
(2)牛乳の価格上昇への対応	—		5	5	5	5	5	5
○価格上昇への対応(+約5円:平成26年度→令和元年度)	5		5	5	5	5	5	5
(3)温かいメニューの提供	—		1	9	9	9	18	28
○レトルトメニューの提供回数の増(現行:2回程度/月)	8~24		-	8 (3~4回程度/月)	8	8	16 (6回程度/月)	24 (8回程度/月)
○汁物の提供回数の増(現行:月1回程度/11~2月)	1~4		1 (月2回程度/10~3月)	1	1	1	2 (2回程度/毎月)	4 (4回程度/毎月)
(4)副食のさらなる充実	—		5	5	15	15	20	30
○特色あるメニューの充実・提供回数の増(現行:3回程度/月)	5~15		5 (4.5回程度/月)	5	5	5	10 (6回程度/月)	15 (8回程度/月)
○生徒に人気のある肉系料理の充実(肉の使用頻度の均一化・ボリュームアップ)	10~15		-	-	10 (牛肉+70g/月など)	10	10	15 (牛肉+100g/月など)
(5)デザート類の充実	—		6	6	6	6	12	18
○行事・季節のデザートの提供回数の増(現行:2回程度/月)	5~15		5 (4回程度/月)	5	5	5	10 (6回程度/月)	15 (8回程度/月)
○ふりかけの提供回数の増(現行:1回程度/月)	1~3	}	1 (2回程度/月)	1	1	1	2 (3回程度/月)	3 (4回程度/月)
○ミルクの提供回数の増(現行:1回程度/学期)			(2回程度/学期)				(3回程度/学期)	(4回程度/学期)
(6)物価上昇への対応	—		-	-	-	10	10	10
○消費者物価指数における物価上昇率を踏まえた対応	10		-	-	-	10	10	10
合 計			20	30	40	50	70	100

	現行	案①	案②	案③	案④	案⑤	案⑥
1食単価	300	320	330	340	350	370	400
改定幅	-	20	30	40	50	70	100
月額費用	4,650	4,950	5,100	5,250	5,400	5,700	6,200
改定幅	-	300	450	600	750	1,050	1,550
改定率	-	6.5%	9.7%	12.9%	16.1%	21.2%	30.4%

※月額費用は年間170回喫食した場合の月あたりの平均値で試算